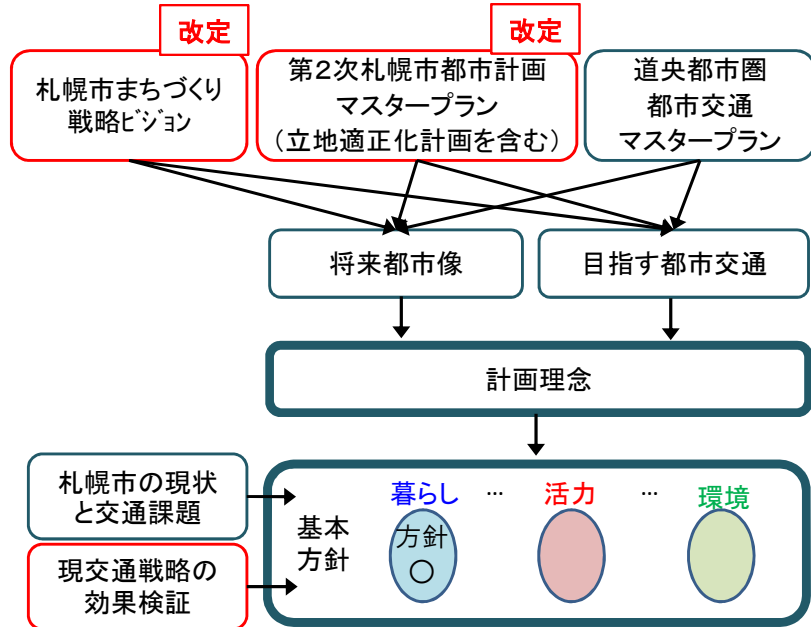


1. 設定の視点（見直しの視点）

- 上位計画の策定（改定）を踏まえ、「将来都市像」「目指す都市交通」を整理し、「計画理念」を検証
- 「計画理念」「札幌市の現状と交通課題」「現交通戦略の効果検証」を踏まえ「基本方針」の見直しを検討



2. 上位計画・関連計画

札幌市まちづくり戦略ビジョン 改定

＜目指すべき都市像＞

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

札幌・北海道の様々な魅力資源を、一人一人の創造性によって、より磨き上げながら、それを国内及び世界に発信することで、世界との結び付きを強め、投資や人材を呼び込むなど、世界が憧れ、活力と躍動感にあふれる、心ときめくまちを実現します。

- 新たな価値を生み出す創造とチャレンジ
- 札幌型ライフスタイルの追及
- 世界に誇る環境首都の実現

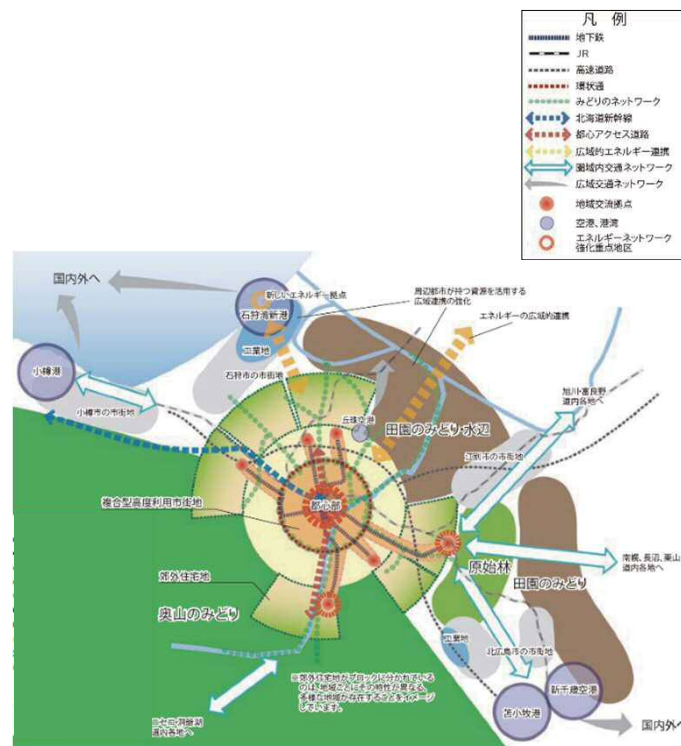
互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

誰もが生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり、支え合うことで、生きる喜びと幸せを感じられる、心豊かで笑顔になれるまちを実現します。

- つながりと支え合いのまちづくり
- 道内市町村との連携と魅力創造
- 世界の中での都市の共生

＜都市空間創造の基本目標＞

持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築を進める



第2次札幌市都市計画マスタープラン 改定

＜都市づくりの理念＞ S・M・I・L・Es City Sapporo (スマイルズ・シティ・サッポロ) ~誰もが笑顔でいきいきとすごせるまちへ~

＜都市づくりの基本目標＞

高次な都市機能や活発な経済活動により、都市の魅力と活力を創出し、道内をはじめ国内外とつながり北海道をリードする**世界都市**

超高齢社会を見据え、地下鉄駅の周辺などに、居住機能と生活を支える多様な都市機能を集積することなどにより、円滑な移動や都市サービスを受容できる**コンパクトな都市**

自然と調和したゆとりある郊外での暮らしや、利便性の高い都心・地下鉄駅周辺などでの暮らしが選択できるなど、住まいの多様性が確保された**札幌らしいライフスタイルが実現できる都市**

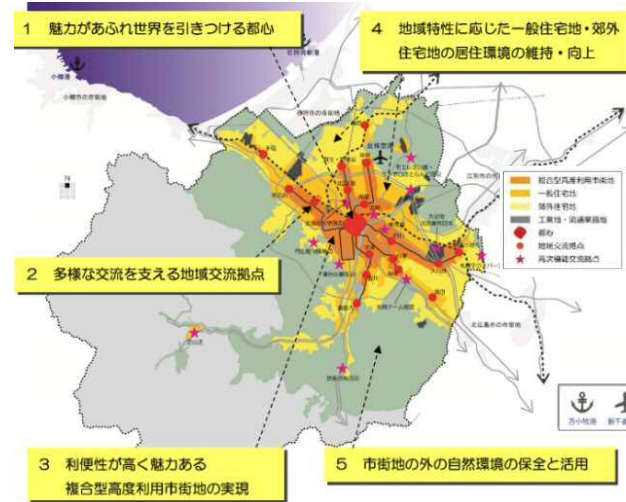
公共交通を基軸としたまちづくりの推進や、新たなエネルギーネットワークの構築などによる**低炭素都市**

都市基盤が効率的に維持・保全され、都市活動が災害時にも継続できる**安全・安心な都市**

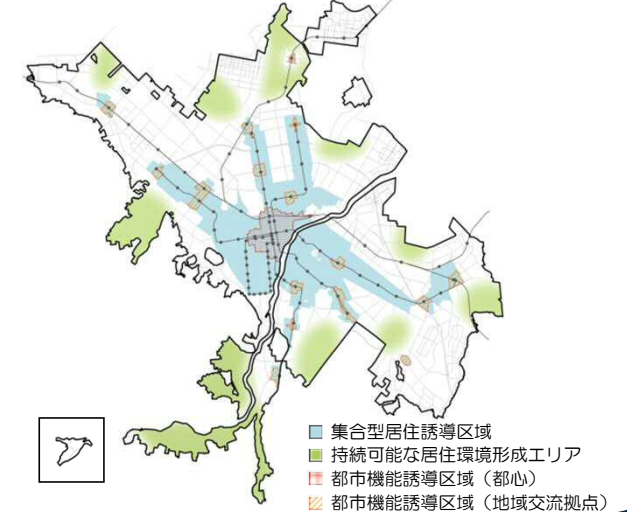
多様な協働による地域の取組が連鎖する都市

S	Sustainability 持続可能性
M	Management マネジメント
I	Innovation 創造性の発揮
L	Livability 住み良いまち
Es	Everyone, Economy, すべての人、経済、活力、雇用、自然環境、環境

＜総合的な取組の方向性＞



＜立地適正化計画による区域・誘導施設の設定＞



道央都市圏の都市交通マスタープラン 変更なし

どうおう ライブプラン 道央 **LIVE plan**

(暮らし=Life)(活力=Vitality)(環境=Environment)

ふるさとと自然と北国の文化を引き継ぎ、安全・安心に暮らせるまちづくりの実現と、人と人、地域と地域が交流・連携し、世界に飛躍する北海道を牽引する新たな都市圏を創造する。

道央都市圏のあるべき将来像（計画理念）

（暮らし）Life

日常生活を支える拠点および周辺市町の中心市街地において、地域特性に応じた多様な都市機能の集積を図り、北国の文化を引き継ぐとともに、お年寄りから子供まで、誰もが、安全、安心に暮らすことができる、利便性の高い都市圏を目指します。

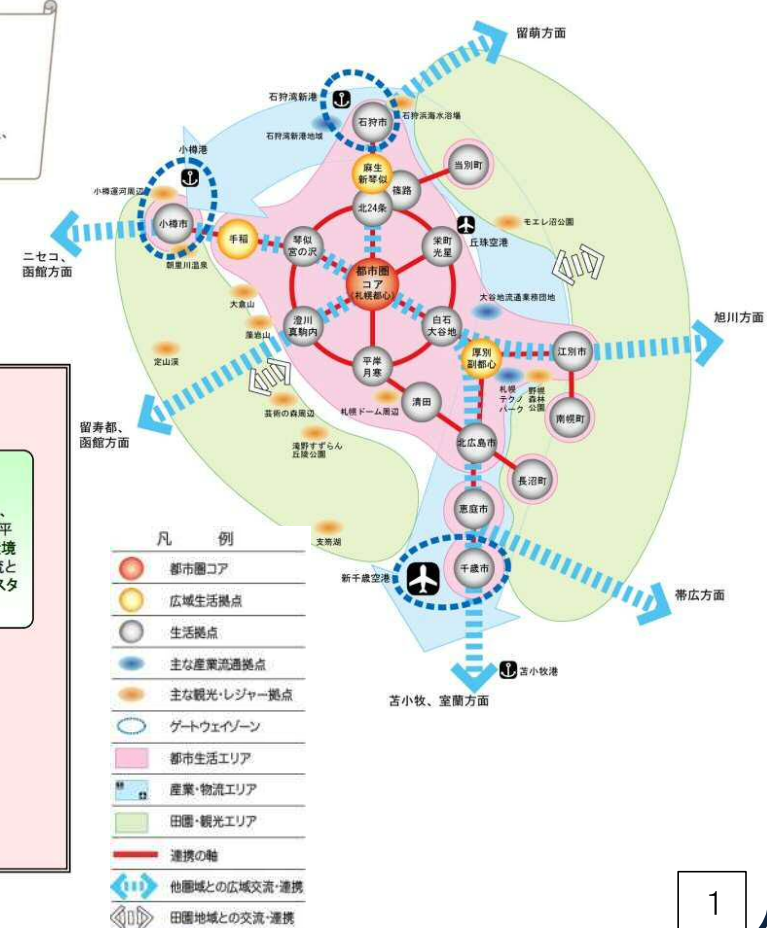
（環境）Environment

地球温暖化などの環境負荷を低減させ、日本海に面した長い海岸線、広大な石狩平野と背後の丘陵地における豊かな自然環境と共生しつつ、田園居住や芸術・文化交流といった創造的都市活動など多様なライフスタイルを実現できる都市圏を目指します。

（活力）Vitality

札幌都心には、道内・国内外と交流・連携する多様な機能の高度な集積を図ります。また、周辺地域の都市生活エリアや産業・流通拠点、田園地域との連携強化も図ることで北海道経済を牽引するとともに、持続的成長を支える都市圏を目指します。観光、物流、医療などで大きな魅力や安心を有する拠点と、国内外との交流・連携を支える2空港、3港湾、新幹線との連携強化を図ることで、道内、国内、国外の様々な人と人、地域と地域が交流・連携する活力と躍動感あふれる都市圏を目指します。

＜圏域内及び圏域周辺の交流・連携＞



3. 計画理念

▶ 上位計画の策定（改定）を踏まえ、「将来都市像」「目指す都市交通」を整理し、「計画理念」を検証

■「将来都市像」について

改定 札幌市まちづくり戦略ビジョン	改定 第2次 札幌市都市計画マスタープラン	変更なし 道央都市圏都市交通マスタープラン
<ul style="list-style-type: none"> 新たな価値を生み出す創造とチャレンジ 札幌型ライフスタイルの追及 世界に誇る環境首都の実現 つながりと支え合いのまちづくり 道内市町村との連携と魅力創造 世界の中での都市の共生 持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 都市の魅力と活力を創造し、道内・国内外とつながり北海道をリードする世界都市 円滑な移動や都市サービスを楽しめるコンパクトな都市住まいの多様性が確保された札幌らしいライフスタイルを実現できる都市 公共交通を基軸としたまちづくり、新たなエネルギーネットワーク構築による低炭素都市 都市基盤が効率的に維持・保全され、都市活動が災害時にも継続できる安全・安心な都市 多様な協働による地域の取組が連鎖する都市 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「暮らし」 <ul style="list-style-type: none"> 地域特性に応じた多様な都市機能集積 北国の文化の継承 誰もが安全安心に暮らせる都市 ▶ 「活力」 <ul style="list-style-type: none"> 札幌都心の多様な機能の高度集積 北海道経済の牽引と持続的発展 観光、物流、医療の拠点 道内、国内、国外の人と地域の交流 ▶ 「環境」 <ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減 豊かな自然環境との共生 田園居住や創造的都市活動など多様なライフスタイルの実現

■「目指す都市交通」について

改定 札幌市まちづくり戦略ビジョン	改定 第2次 札幌市都市計画マスタープラン	変更なし 道央都市圏都市交通マスタープラン
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 持続可能な都市を支える交通ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利用促進（交通結節点やバス等の利便性向上） 骨格道路網の強化（広域連携強化、市内交通円滑化） ▶ 魅力ある市街地 <ul style="list-style-type: none"> 郊外住宅地における地域の足を確保 ▶ 活力があふれ世界を引きつける都心 <ul style="list-style-type: none"> 都心の回遊性の向上、交通環境の改善 ▶ 多様な交流を支える交流拠点 <ul style="list-style-type: none"> 地域交流拠点の機能向上を促進（快適な歩行空間創出など） ▶ 都市基盤の維持・保全と防災力の強化 <ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ計画的な維持・保全 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 総合的な交通ネットワークの確立 <ul style="list-style-type: none"> 公共交通ネットワークの効果的な運用により、拠点へのアクセス機能の向上、各交通機関の相互連携と質の充実を図る 都心への不必要な自動車流入を極力抑制、拠点相互が有機的に連結するよう道路ネットワークを構成 空港・港湾アクセス、鉄道、高速道路などの機能を確保・充実、新幹線札幌開業を見据えた広域交通ネットワークを強化 ▶ 地域特性に応じた交通体系の構築 <ul style="list-style-type: none"> 市民・企業・行政等の共通認識のもと、都心の回遊性強化や人口減少・高齢化が進む地域の交通のあり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「暮らし」 <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて、どんなときも、誰もが安全、安心に暮らせる利便性の高い交通環境を実現 ▶ 「活力」 <ul style="list-style-type: none"> 都市拠点、産業拠点の育成と国内外に魅力をもつ拠点間の交流・連携を支えるなど北海道経済を支えるモビリティを確保 ▶ 「環境」 <ul style="list-style-type: none"> 環境に優しく、持続可能な都市を支える交通環境を実現

<将来都市像の実現を交通面から支える重要な視点>

赤字: 現計画からの変更箇所

暮らし	日常生活を支える各拠点において、それぞれの特性に応じた多様な都市機能の集積を図るとともに、北国の文化を継承しながら、 多様なライフスタイルを選択し 、お年寄りから子供まで、誰もが安全・安心に暮らすことができる、公共交通を軸とした利便性の高い交通体系を実現します。
活力	都心部には、道内・国内外との交流・連携する多様で高度な機能の集積を誘導する必要があり、 道内市町村との連携強化 を図りながら、北海道経済を牽引し、その機能を持続・発展させる市民活動・経済活動を支援する交通システムの実現を図ります。 また、国内外との交流・連携を支える 広域的なネットワークを強化 することにより、 都市の魅力と活力を創造し、道内・国内外とつながる交通体系 を実現します。
環境	地球温暖化などの環境負荷を低減させ、豊かな自然環境と持続的に共生し、公共交通の利用促進等による適切な自動車利用を誘導し、適切な交通手段が選択できる 低炭素型 の交通体系を実現します。

<目指す都市交通の方向性>

赤字: 現計画からの変更箇所

持続可能な交通ネットワークの確立	公共交通の利便性向上や 骨格道路網の強化 等により、 地域生活、拠点間交流、広域連携を支える公共交通を軸とした持続可能な交通ネットワークを確立
地域特性に応じた交通体系の構築	人口減少や高齢化などの社会情勢を踏まえ、市街地の特性や交通状況など、地域の状況に応じた交通体系の構築
市民・企業、交通事業者、行政の連携	持続可能な交通ネットワークの確立や地域特性に応じた交通体系の構築を図るため、市民・企業、交通事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、連携して取組を推進

計画理念

「暮らし」・「活力」・「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現
～あるべき将来都市像を実現する**持続可能な都市交通**を目指して～

4. 基本方針

(1) 基本方針の設定（見直し）

▶ 「計画理念」「札幌市の現状と交通課題」「現交通戦略の効果検証」を踏まえ「基本方針」の見直しを検討

現状と課題

社会経済面	交通面
<ul style="list-style-type: none"> 今後人口減少に転じる見込み 高齢化の急速な進行 地域によって街形成過程や周辺環境など特性が異なる ライフスタイルが多様化 財政状況の制約、担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用者は近年緩やかに増加しているが今後の人口減少による影響が懸念 アクティブシニアの増加、若者の車離れ 高齢ドライバーによる事故率が増加、自動車運転免許自主返納件数が急増
<ul style="list-style-type: none"> 高齢化の急速な進行 地震や大雪による交通麻痺に伴う都市機能停滞など自然災害リスクが存在 都市基盤の老朽化による維持・更新費用が増加 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の死傷事故は幹線道路で広く発生 自転車のルール違反が多い 歩道バリアフリー化の推進 冬期の転倒事故や道路交通のサービス低下
<ul style="list-style-type: none"> 中央区（都心）の人口増加 中央区の経済活動・求心力が回復傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 都心部では荷さばき貨物車等の路上駐車による混雑が発生 都心部における自転車の歩道通行、違法駐輪による歩行環境への影響 都心から高速道路までの距離が遠く、都心への定時性、速達性が確保されていない
<ul style="list-style-type: none"> 札幌には国内外から多数の観光客が来訪し、近年は外国人観光客が急増 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客はJRや地下鉄などの公共交通を利用する割合が高く、レンタカーの割合も高い
<ul style="list-style-type: none"> グローバル化の進展により激しさを増す都市間競争 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度末の新幹線札幌開業により、北海道全体の交流人口の増加が予測 都心から高速道路までの距離が遠く、都心への定時性、速達性が確保されていない
<ul style="list-style-type: none"> 市内の二酸化炭素排出量の増加、運輸部門の排出割合が比較的高い ハイブリットカーや電気自動車などのエコカーが急速に普及 	<ul style="list-style-type: none"> 都心部及び放射・環状の幹線道路の交差点周辺で局所的な交通混雑が発生 冬期の道路交通のサービス低下

＜基本方針＞

区分	現計画	見直し(案)
暮らし	地域特性に応じた『拠点のまちづくり』を支える	市民の『多様な暮らし』を支える
		市民の『安全・安心な暮らし』を支える
活力	道都さっぽろの顔となる『都心まちづくり』を支える	
	さっぽろの『都市観光』を支える	
	圏域連携のための『広域交通』を強化する	道内・国内外との『広域連携』を支える
環境	交通システムの充実により『環境首都・札幌』の実現を支える	

現交通戦略の効果検証

効果検証を踏まえ考慮すべき事項
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利便性向上の取組や駅周辺整備等が利用者数増に寄与していると推察され、公共交通機関相互の円滑な接続、モビリティマネジメント、ICT（インターネットやローケーションシステム等）を活用した交通情報の提供の取組等を推進 市街地の特性や人口減少・高齢化などの社会情勢を踏まえ、地域の状況に応じた交通施策を展開
<ul style="list-style-type: none"> 歩道バリアフリー化は着実に進捗しており、引き続き積極的に推進 共生社会の実現に向けて、誰もが安全・安心な交通環境を形成するため、バリアフリー施策の更なる充実
<ul style="list-style-type: none"> 地下歩行空間開業や広場イベントの開催等が都心の求心力向上に寄与していると推察され、今後も更なる賑わい創出を図っていくための安全で快適な歩行環境を創出 都心部へのアクセス向上を図るため、公共交通の利便性向上等の取組を引き続き推進
<ul style="list-style-type: none"> 観光スポットへのアクセス向上のため、幹線道路整備等による交通円滑化の取組を推進するとともに、観光需要に応じた利便性の高い交通サービスを提供 近年増加する外国人観光客に向けて、案内表示の多言語化の推進など受入環境の更なる充実
<ul style="list-style-type: none"> 道内・国内外からの交通利便性向上の取組を推進 新幹線札幌開業の効果を道内各地へ波及するため、札幌駅交流拠点の交通結節機能強化、都心アクセス強化道路軸の検討を推進 丘珠空港の利活用策について、市民、関係者等でさらに議論を深めつつ、丘珠空港の機能向上を促進
<ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車の普及や交通円滑化など、環境負荷を低減させる取組を積極的に推進 今後の低炭素社会の実現に向け、公共交通の利用促進を図るなどの市民意識の醸成